



東海環状自動車道 (三重県)



天ヶ瀬ダム再開発事業 (京都府)



五台山トンネル (高知県)



横浜港 (神奈川県)



静間仁摩道路 (島根県)



東北中央自動車道 (福島県)

のこすこと、つくること どちらも国土技術です。

平成30年度 国土交通省

国土技術研究会

2018年
11/1 木・2 金

会場：中央合同庁舎2号館、3号館
東京都千代田区霞ヶ関2-1-2、2-1-3

国土技術研究会は、住宅・社会資本整備行政に係る技術課題、中長期的に又は緊急的に取り組むべき技術課題等について、本省、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、特別の機関、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、住宅・社会資本整備に関する技術の向上と行政への反映を図ることを目的として開催するものです。

【参加費無料 事前申込受付中～10/30（火）17時まで】

※特別講演会場には収容人数に限りがあります。状況に応じて入場制限をさせて頂く場合があります。
事前参加申込の手続きは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html>

課題論文、プログラム詳細はホームページに掲載しております。最新情報については、ホームページをご覧ください。

【プログラム】

1日

- 自由課題
一般部門（安全・安心、活力）
イノベーション部門
- ポスターセッション（技術センター展示を併設）
- 国土技術開発賞受賞技術報告

2日

- 自由課題
アカウンタビリティ部門
- 指定課題
- ポスターセッション（技術センター展示を併設）
- 建設技術研究開発助成制度成果報告
- 特別講演
- 表彰式

土木学会認定
CPDプログラム

主催 国土交通省

博多港 (福岡県)

特別講演 『深層学習の深化と社会へのインパクト』

【日時】平成30年11月2日(金)14:00～15:00 【会場】中央合同庁舎3号館10階



株式会社Preferred Networks
PFN Fellow
丸山 宏

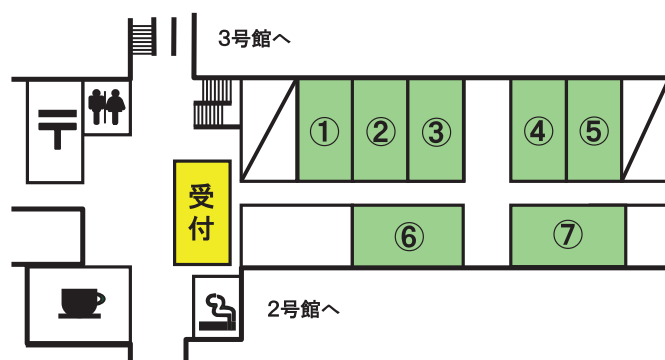
【プロフィール】

1983年 東京工業大学修士課程修了
同年日本アイ・ビー・エム入社
ジャパン・サイエンス・インスティテュート(後の東京基礎研究所)にて、人工知能、自然言語処理などの研究に従事
1997-2000年 東京工業大学 情報理工学研究所 客員助教授 XML, Webサービス, 及びセキュリティの研究・開発・標準化を行なう
2003-2004年 IBMビジネスコンサルティングサービス株式会社へ出向
2006-2009年 東京基礎研究所所長。執行役員
2009-2010年 キヤノン株式会社 デジタルプラットフォーム開発本部 副本部長
2011-2016年 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 教授
2016-2018年 株式会社Preferred Networks 最高戦略責任者
2018年4月-現在 株式会社Preferred Networks PFN Fellow

会場案内

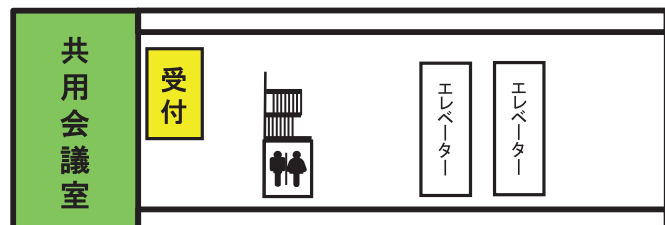
■特別講演は、中央合同庁舎3号館10階で行います。収容人数の関係上、事前参加申込を実施致します。

11月1日(木)、2日(金)AM @ 2号館低層棟会議室



	11月1日(木)AM	11月1日(木)PM	11月2日(金)AM
①	安全・安心Ⅰ	(左に同じ)	建設技術研究開発助成制度
②	安全・安心Ⅱ	(左に同じ)	指定課題Ⅰ
③	活力	(左に同じ)	指定課題Ⅱ
④	国土技術開発賞Ⅰ	イノベーションⅠ	アカウントビリティ
⑤	国土技術開発賞Ⅱ	イノベーションⅡ	
⑥	ポスターセッションⅠ	(左に同じ)	(左に同じ)
⑦	ポスターセッションⅡ 技術センター展示	(左に同じ)	(左に同じ)

11月2日(金)PM @ 3号館10階共用会議室



<3号館10階へお越し頂く際の注意事項>

- ・10階に止まるエレベーターは限りがあります。
- ・多くの方が一斉に移動することが想定されますので、時間に余裕をもって移動頂きますようお願いいたします。
- ・特別講演は収容人数の関係上、入場を制限する可能性があります。

プログラム

11月1日(木) 10:00 受付開始

11月2日(金) 9:30 受付開始

自由課題 一般部門 イノベーション部門	国土技術開発賞 受賞技術報告	ポスター セッション	自由課題 アカウントビリティ部門	指定課題	建設技術研究開発 助成制度成果報告	ポスター セッション
10:40 一般部門 <安全・安心Ⅰ> 4課題 <安全・安心Ⅱ> 4課題 <活力> 4課題 12:00 休 憩 13:00 (一般部門13:20～) 一般部門 <安全・安心Ⅰ> 10課題 <安全・安心Ⅱ> 10課題 <活力> 10課題 イノベーション部門Ⅰ 11課題 イノベーション部門Ⅱ 11課題 17:00	10:40 国土技術 開発賞受賞 技術 9課題 11:30	11:00 展示数 15課題 技術センター 展示を併設 コアタイム 11:50～13:30	10:00 アカウントビリティ部門 10課題 12:10	10:00 指定課題 6課題 12:20	10:00 策課題解決型 6課題 12:20	10:00 展示数 15課題 技術センター 展示を併設 12:20
特別講演 (中央合同庁舎 3号館10階)【受付13:30～】						
14:00～15:00 丸山 宏 氏 (株式会社Preferred Networks PFN Fellow)						
表彰式(中央合同庁舎 3号館10階)						
15:10～16:00 表彰式・講評						

内容・会場等については、変更する場合があります。最新情報は、ホームページをご覧ください。(http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html)

【問い合わせ先】国土交通省 TEL 03-5253-8111 大臣官房 技術調査課(内線22346) 総合政策局 技術政策課(内線25634)

自由課題(一般部門) <安全・安心Ⅰ>

11月1日(木) 10:40～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:40 ～ 11:00	XバンドMPLレーダを用いた吹雪観測の可能性について	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム	大宮 哲
2	11:00 ～ 11:20	大型車両の燃費に路面雪氷が及ぼす影響に関する研究	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地保全技術研究グループ 寒地道路保全チーム	大浦 正樹
3	11:20 ～ 11:40	除雪機械の老朽化リスクと見える化について	北海道開発局 事業振興部 機械課	大上 哲也
4	11:40 ～ 12:00	東北地方整備局における新たな雪底処理車の検討	東北地方整備局 東北技術事務所 施工調査・技術活用課	千田 育雄
—	12:00 ～ 13:20	休憩(80分)		
5	13:20 ～ 13:40	子供が安全に通学できるまちづくり ～ETC2.0プローブデータを活用した生活道路の交通事故対策～	北陸地方整備局 新潟国道事務所 調査課	松本 優里
6	13:40 ～ 14:00	佐賀県「安推連」で取り組んだカラー舗装等の安全対策の効果について	九州地方整備局 佐賀国道事務所 交通対策課	猪井 知明
7	14:00 ～ 14:20	ビッグデータを用いたヒヤリハット分析について	沖縄総合事務局 開発建設部 南部国道事務所 交通対策課	下地 涼大
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
8	14:30 ～ 14:50	領域海洋モデルROMSを用いた東京湾における副振動の解析	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域 津波高潮研究グループ	岩本 匠夢
9	14:50 ～ 15:10	全国初！疑似重力式構造を採用した耐震強化岸壁の整備について	中部地方整備局 三河港湾事務所 企画調整課	長田 康輝
10	15:10 ～ 15:30	インフラ被災情報の把握技術に関する性能水準の検討	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路地震防災研究室	白石 萌美
11	15:30 ～ 15:50	UAV搭載型レーザスキャナを用いた土砂崩落の把握	国土地理院 基本図情報部 地図情報技術開発室	澤 可那子
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
12	16:00 ～ 16:20	災害時の緊急点検におけるドローンの活用について ～都市部における新たな取り組み～	関東地方整備局 道路部 地域道路課	田邊 和嗣
13	16:20 ～ 16:40	防災点検箇所に関する実効性のある効率的な調査手法について	関東地方整備局 関東技術事務所 技術課	福永 良三
14	16:40 ～ 17:00	南海トラフ巨大地震の津波を想定した中部管内排水計画について	中部地方整備局 河川部 河川計画課	野田 雄太

自由課題(一般部門) <安全・安心Ⅱ>

11月1日(木) 10:40～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:40 ～ 11:00	構造用鋼材の一樣伸びの評価	国土技術政策総合研究所 建築研究部 構造基準研究室	三木 徳人
2	11:00 ～ 11:20	係留施設における劣化予測の精度向上に向けた検討	国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施設研究室	菅原 法城
3	11:20 ～ 11:40	河川堤防の進行性破壊に対する対策手法に関する研究	国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム	佐々木 亨
4	11:40 ～ 12:00	コンクリート水中部の超音波による非接触劣化度調査について	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 技術開発調整監付 寒地機械技術チーム	小林 勇一
—	12:00 ～ 13:20	休憩(80分)		
5	13:20 ～ 13:40	国道30号伊達橋における疲労亀裂の対策	中国地方整備局 岡山国道事務所 管理第二課	小嶋 啓太
6	13:40 ～ 14:00	一般国道32号「池田第一橋」における異常音発生の詳細調査報告	四国地方整備局 徳島河川国道事務所 道路管理第二課	木内 雅浩
7	14:00 ～ 14:20	鋼床版Uリブ・デッキプレート溶接部に対する自走式PAUT法を活用した調査・診断方法の提案	中日本高速道路㈱ 技術・建設本部 環境・技術企画部	服部 雅史
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
8	14:30 ～ 14:50	鬼怒川堤防に+1 ～堤防用法肩ブロックの開発～	関東地方整備局 下館河川事務所 計画課	渡邊 裕
9	14:50 ～ 15:10	信濃川河道改修における改修履歴と影響評価について	北陸地方整備局 信濃川河川事務所 調査課	親松 康義
10	15:10 ～ 15:30	毛馬排水機場ポンプ設備の健全度を評価する項目の整理	近畿地方整備局 兵庫国道事務所 管理第二課	栗山 大生
11	15:30 ～ 15:50	流砂水文観測技術を活用した天然ダム監視観測方法の検討	近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター	田中 健貴
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
12	16:00 ～ 16:20	三角波による河川管理上のリスク:ブロックの安定性を例として	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 寒地河川チーム	岩崎 理樹
13	16:20 ～ 16:40	傾斜を有する鋼製下地吊り天井の力学性能に関する検討	国立研究開発法人 建築研究所 建築生産研究グループ	沖 佑典
14	16:40 ～ 17:00	北海道開発局の通信ネットワークについて —H28台風災害時の対応とより強固な通信インフラ整備に向けて—	北海道開発局 事業振興部 機械課	小野寺 崇

自由課題(一般部門) <活力>

11月1日(木) 10:40～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:40 ～ 11:00	積雪寒冷地におけるコンクリート舗装の設計について	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地保全技術研究グループ 寒地道路保全チーム	上野 千草
2	11:00 ～ 11:20	鉄筋コンクリート部材中の鉄筋腐食状況および含水状態に関する実態調査	国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ	松沢 晃一
3	11:20 ～ 11:40	「金沢河川国道事務所道路デザイン指針(案)」の策定について	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 調査第二課	中 友太郎
4	11:40 ～ 12:00	名古屋港における集中管理ゲートの開発と実用化 ～ターミナル前混雑による経済損失の解消～	中部地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室	淵ノ上 篤史
—	12:00 ～ 13:00	休憩(80分)		
5	13:00 ～ 13:40	ダムと自然環境を連動させたインフラツアー開発について	九州地方整備局 立野ダム工事事務所 工務課	長尾 潤
6	13:40 ～ 14:00	貯砂ダムを活用した地域連携フェスティバルの開催	東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所 湯田ダム管理支所	小松 禎幸
7	14:00 ～ 14:20	ハッ場ダム周辺地域における地域振興について 「やんばツアーズ」と「チームやんば」	関東地方整備局 ハッ場ダム工事事務所 地域振興課	手塚 祐美
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
8	14:30 ～ 14:50	北海道型地域構造の保持・形成に向けた取組 —生産空間に住み続けられる環境づくりを目指して—	北海道開発局 開発監理部 開発調整課	山本 直之
9	14:50 ～ 15:10	訪日外国人旅行者によるレンタカー利用実態調査	近畿地方整備局 企画部 広域計画課	森野 由愛
10	15:10 ～ 15:30	ボランティア・ロード活性化、拡充方策の検討	中国地方整備局 岡山国道事務所 岡南維持出張所	中尾 麻衣
11	15:30 ～ 15:50	交通流動把握におけるWCN調査の有効性に関する一考察	四国地方整備局 松山河川国道事務所 工務第二課	永田 佳之
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
12	16:00 ～ 16:20	天然記念物イタセンバラの野生復帰を目指して～平成6年調査開始以来 最多となる稚魚数を確認するまでの道のり～	近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川環境課	清重 亜美
13	16:20 ～ 16:40	バイオマス資源の事業間連携活用～植物系バイオマスを活用した下水汚泥の脱水技術～	国立研究開発法人 土木研究所 先端材料資源研究センター 材料資源研究グループ	山崎 廉予
14	16:40 ～ 17:00	砂浜潮間帯に生息する底生端脚類の分布と地盤環境適合場の一般性	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地盤研究領域 動土質研究グループ	梁 順普

自由課題(イノベーション部門Ⅰ)

11月1日(木) 13:00～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	13:00 ～ 13:20	河川マネジメントを意識した福井版CIMモデルについて	近畿地方整備局 福井河川国道事務所	渡邊 俊夫
2	13:20 ～ 13:40	那覇北道路橋梁詳細設計におけるBIM/CIM活用事例とその効果について	沖縄総合事務局 開発建設部 南部国道事務所 調査第二課	城間 和樹
3	13:40 ～ 14:00	働きやすい建設現場を目指して ～営繕工事における週休2日(現場閉所)の確保に向けた取り組み～	中部地方整備局 営繕部 技術・評価課	岩田 美穂
4	14:00 ～ 14:20	ICT浚渫工(河川)の出来形管理基準策定の検討	近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課	山口 敦久
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
5	14:30 ～ 14:50	熊本地震からの新技術を活用した災害復旧	九州地方整備局 熊本復興事務所 工務第二課	森 英高
6	14:50 ～ 15:10	タブレット端末を用いた直営点検の効率化	独立行政法人 水資源機構 木曾川用水総合管理所 電気通信課	藤本 生
7	15:10 ～ 15:30	中部横断自動車道 猛禽類調査における先進的調査及び稀少観測結果の事例について	関東地方整備局 甲府河川国道事務所 工務第二課	番場 良平
8	15:30 ～ 15:50	岩国大竹道路における橋梁設計のための断層調査	中国地方整備局 広島国道事務所 調査設計課	三上 里奈
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
9	16:00 ～ 16:20	一般国道9号北条バイパスコンクリート舗装災害復旧(最終報告)について	中国地方整備局 倉吉河川国道事務所 道路管理課	河中 響平
10	16:20 ～ 16:40	iRICの実用事例を踏まえた札内川自然再生の取り組みについて	北海道開発局 帯広開発建設部 治水課	天羽 淳
11	16:40 ～ 17:00	除雪機械の情報化施工技術の検討について	北陸地方整備局 北陸技術事務所 施工調査・技術活用課	長谷川 崇

自由課題(イノベーション部門Ⅱ)

11月1日(木) 13:00～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	13:00 ～ 13:20	新猪ノ鼻トンネルにおける連続ベルトコンベアシステムによるトンネル掘削スリの搬出について	四国地方整備局 香川河川国道事務所 工務第二課	高橋 加奈子
2	13:20 ～ 13:40	今後のダム再生事業につなげる ～既設堤体コンクリート殻を活用したCSG工法の適用～	九州地方整備局 川内川河川事務所 工務課	遠山 哲生
3	13:40 ～ 14:00	大鳴門橋補剛桁の近接範囲拡大に向けた桁作業車改造の取組	本州四国連絡高速道路株式会社 鳴門管理センター 機械課	松葉 真人
4	14:00 ～ 14:20	ビッグデータを活用した生活道路における仮設ハンブ設置の効果検証について	横浜市 道路局 施設課	榎田 洸介
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
5	14:30 ～ 14:50	既設大規模空間への空調設備設置に関する検討について	兵庫県 県土整備部 住宅建築局 設備課	池田 泰
6	14:50 ～ 15:10	ボックスカルバートの基礎地盤対策について ーカルバート基礎補強工法の施工結果ー	北海道開発局 釧路開発建設部 釧路道路事務所 第3工務課	小林 佳太郎
7	15:10 ～ 15:30	持分契約の契約書における工夫 ～地権者の負担軽減と事務の効率化～	中部地方整備局 設楽ダム工事事務所 用地第一課	中野 僚平
8	15:30 ～ 15:50	地域と連携した法面除草の実施	東北地方整備局 仙台河川国道事務所 石巻国道維持出張所	伊藤 秀樹
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
9	16:00 ～ 16:20	ETC2.0ブローブ情報を活用したボトルネック指数によるボトルネックの把握	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路研究室	松田 奈緒子
10	16:20 ～ 16:40	AIと空撮情報を用いた河床表層の粒径推定技術	国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所 水工研究グループ 水理チーム	竹内 大輝
11	16:40 ～ 17:00	「だいち2号」の干渉SARで見る地震の地殻変動	国土地理院 地理地殻活動研究センター 地殻変動研究室	山田 晋也

自由課題(アカウントビリティ部門)

11月2日(金) 10:00～12:10

NO	課題名	所属	発表者
グループ①	1 美瑛川地区かわまちづくり事業における地域との連携について	北海道開発局 旭川開発建設部 治水課	五十嵐 拓
	2 自転車走行環境に配慮した『三連ドットライン』整備効果のET2.0データを用いた分析～国道220号伊比井地区～	九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 工務第三課(併)調査第二課	山腰 司
	3 道の駅「みはら神明の里」における駐車場拡幅によるリニューアル工事について	中国地方整備局 広島国道事務所 西条維持出張所	川西 里紗
	4 生活道路対策エリアにおける地域意見を踏まえた交通安全対策	四国地方整備局 香川河川国道事務所 交通対策課	星川 菜津美
	5 北上川ダム統合管理事務所の流木マネジメント	東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所 湯田ダム管理支所	佐々木 悠也
グループ②	6 一般国道42号松阪多気バイパスの整備効果について ～利用者の視点を意識した広報の取組～	中部地方整備局 紀勢国道事務所 計画課	長野 健太郎
	7 マイ・タイムライン作成を通して水防災意識社会再構築を図る ～マイ・タイムラインファシリテーターとしての取り組み～	龍ヶ崎市 危機管理課	矢代 優衣
	8 メディアへのヒアリングを踏まえた冬期雪害広報の改善について	北陸地方整備局 道路部 道路計画課	山田 拓也
	9 施設では守れない大洪水は必ず発生する！！ 防災意識向上に向けた防災教育の取組例について	中部地方整備局 静岡河川事務所 調査課	中島 佑樹
	10 新たな発見！女子が見る天ヶ瀬ダム再開発事業 ～けんせつ小町補完計画～	近畿地方整備局 河川部 河川計画課	臼井 義幸

指定課題Ⅰ

11月2日(金) 10:00～12:20

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:00 ～ 10:40	“がまん”しない官庁施設の省エネ実現に向けて	大臣官房 官庁営繕部 設備・環境課営繕環境対策室	島倉 卓也
2	10:50 ～ 11:30	流砂水文観測を活用した大規模土砂生産後の山地流域の土砂管理	水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課 地震・火山砂防室	丹羽 俊一
3	11:40 ～ 12:20	沿岸域における生物生息場の空間配置 ～シースケープのデザイン～	国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 海洋環境・危機管理研究室	秋山 吉寛

指定課題Ⅱ

11月2日(金) 10:00～12:20

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:00 ～ 10:40	道路橋コンクリート床版の土砂化対策に関する調査研究	国立研究開発法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター	上仙 靖 他
2	10:50 ～ 11:30	地方自治体工事へのICT施工普及に関する研究	総合政策局 公共事業企画調整課 施工安全企画室	二瓶 正康
3	11:40 ～ 12:20	AIによる画像認識技術等を活用した道路・河川管理の高度化	大臣官房技術調査課電気通信室、東北地方整備局、 国土技術政策総合研究所、㈱日立製作所	大坪 祐紀 他

ポスターセッション

※コアタイム 11月1日(木) 11:50～13:30

発表者がポスター前に待機し、来場者からの質疑に応答致します

NO	課題名	所属	発表者
会場①	1 粒度分布を考慮した透過型砂防堰堤の部材間隔の設定手法の提案	国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 砂防研究室	松本 直樹
	2 現地計測と数値解析に基づく山岳トンネル補助工法の効果に関する一考察	国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム	菊地 浩貴
	3 建築物の自然換気設計のための風圧係数データベースの開発	国立研究開発法人 建築研究所 環境研究グループ	西澤 繁毅
	4 CLTの面内せん断強度の推定と実験による検証	国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ	中島 昌一
	5 屋外3次元空間における高精度衛星測位の適用範囲拡大のための技術開発	国土地理院 測地観測センター 衛星測地課	多田 直洋
	6 SAR干渉解析を用いた小千谷市における地盤の季節変動の面的把握	国土地理院 測地部 宇宙測地課	桑原 將旗
	7 十勝岳火山砂防における冬期無人化施工現地試験について ー寒冷地での施工における課題ー	北海道開発局 旭川開発建設部 治水課	北清 竜也
	8 油断大敵！油流出事故！ ～WEB会議を応用した現場対応～	山形県 庄内総合支庁 建設部河川砂防課	佐藤 京介
	9 低潮線保全に関する取り組みについて	関東地方整備局 河川部 河川管理課	國友 康秀
	10 中・小規模修繕工事における既存技術と融合した情報化技術について	北陸地方整備局 長岡国道事務所 長岡維持出張所	矢澤 修一
	11 人材育成戦略セミナー&組織診断(心のベクトル診断)	中部地方整備局 浜松河川国道事務所 総務課	正木 貴文
会場②	12 女性職員が管内「道の駅」を総点検	中国地方整備局 広島国道事務所 調査設計課	三上 里奈
	13 若手現場勉強会～「見るだけ」から「考える」へ～	四国地方整備局 港湾空港部 港湾事業企画課	吉松 美南
	14 堤防法面張芝の長寿命化を目指して	九州地方整備局 九州技術事務所 品質調査課	今村 久代
	15 沖縄の港湾におけるクルーズ船受入れ強化の取り組み	沖縄総合事務局 開発建設部 港湾計画課	新垣 大

技術センター展示

※ポスターセッション会場②において、技術センター展示も行います

会場②	1	技術センター総括
	2	北陸雪害対策技術センター
	3	関東維持管理技術センター
	4	中部地震津波対策技術センター
	5	近畿大規模土砂災害対策技術センター
	6	九州防災・火山技術センター

国土技術開発賞受賞技術報告Ⅰ

11月1日(月) 10:40～11:30

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:40 ～ 10:50	ICTの活用による生産性向上を図る維持管理システム	首都高速道路株式会社 保全・交通部 点検・補修推進室 点検推進課	神田 信也
2	10:50 ～ 11:00	大型風車組立リフトアップ工法 ―ウインドリフト―	株式会社 大林組	江副 誉典
3	11:00 ～ 11:10	床埋設式降下型避難機器 (品名)UDエスケープ	ナカ工業株式会社	藤谷 哲也
4	11:10 ～ 11:20	非構造面材取付け工法 (副題:T-Flex Wallsystem)	大成建設株式会社	橋爪 慶介
5	11:20 ～ 11:30	既設落石防護擁壁のソイルセメント等による補強工法(ソイルバンパー)	株式会社 構研エンジニアリング	牛渡 裕二

国土技術開発賞受賞技術報告Ⅱ

11月1日(木) 10:40～11:20

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:40 ～ 10:50	ワイヤロープ式防護柵	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所	平澤 匡介
2	10:50 ～ 11:00	ケーソン自動制御据付システム	東洋建設株式会社	加藤 直幸
3	11:00 ～ 11:10	アーチ矢板土留とジャケットを一体化した横棧橋工法	JFEエンジニアリング(株)	田中 祐人
4	11:10 ～ 11:20	小型貝殻ブロックによる生物生息空間の創出 (副題) 貝殻を活用した生き物の棲める環境回復技術	海洋建設株式会社	片山 真基

国土技術開発賞とは

技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設産業に係わる優れた新技術を表彰するものです。また、中小建設業者、専門工事業者等の創意工夫やアイデアにあふれた技術を、特別賞「創意開発技術賞」として表彰しています。

主催：一般財団法人 国土技術研究センター、一般財団法人 沿岸技術研究センター

後援：国土交通省

建設技術研究開発助成制度成果報告

11月2日(金) 10:00～12:10

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:00 ～ 10:20	各種センサ等を用いたコンクリート工事における品質管理の高度化・工期短縮化技術の開発	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻野口研究室	友寄 篤
2	10:20 ～ 10:40	既設宅地のスマート液化化対策工法の開発	岐阜大学工学部社会基盤工学科	村田 芳信
3	10:40 ～ 11:00	i-Constructionを加速させる長距離無線LANシステムの開発	熊谷組	北原 成郎
—	11:00 ～ 11:10	休憩(10分)		
4	11:10 ～ 11:30	河川土工の施工管理のためのレーザスキャナ搭載UAVを用いた計測データの利活用技術に関する研究開発	関西大学環境都市工学部都市システム工学科	窪田 諭
5	11:30 ～ 11:50	中小零細建設業を対象にする映像を活用したvalueCIMの開発	株式会社環境風土テクノ	須田 清隆
6	11:50 ～ 12:10	寒冷地河川におけるリアルタイム流量自動観測システムの開発	株式会社福田水文センター	澤田 浩一

建設技術研究開発助成制度とは

国や地域の諸課題(地球温暖化、社会インフラの老朽化、少子高齢化等)の解決に資するための技術開発テーマを国土交通省が示し、そのテーマに対し民間企業や大学等の先駆的な技術開発提案を公募し、優れた技術開発を選抜し助成する競争的資金制度です。

平成29年度に実施された研究開発等の成果について報告します。